



二中だより

第 9 号
令和4年1月11日(火)
柏江市立柏江第二中学校
TEL 03-3480-8891
FAX 03-5497-7362
<http://www.komae.ed.jp/jh/02>

【新年を迎えて】

校長 猪瀬 政幸

あけましておめでとうございます。この冬休みは充実した日々を送ることができましたか？皆さんの新年の抱負は何でしたか？今年一年が、皆さん一人一人にとって素晴らしい一年になるよう、引き続き支援していきたいと思えます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、三学期は一年間のまとめの時期、3年生にとっては義務教育最後の三か月です。短い期間ですが、2年生のスキー移動教室、3年生の修学旅行代替行事、そして、三年ぶりに実施予定の合唱コンクールが控えています。年明け早々、新型コロナウイルス感染者数が再び増加傾向にありますが、これらの行事を安全に実施できるように、引き続き感染防止対策にご協力ください。

そして、3年生は、いよいよ進路決定に向けて力を発揮する時がきました。

「使う言葉が現実になる」「意志が未来をつくる」

そんな話をこれまで何度もしてきました。不安になるのは当たり前。不安になる自分を認めただ上、目標を達成した情景を思い描いて、自信をもって本番に臨んでください。

「避けたいことや出来ないことに焦点をあてない」(2学期終業式校長講話より)

今日のテーマは「人間の脳は否定形の指示を処理できない」ということについてお話しします。どうということか試しにやってみましょう。

それでは、『動物の“トラ”を思い浮かべないでください』

どうですか？トラを思い浮かべなかった人はいますか？おそらく全員が、何かしらのトラのイメージが浮かんだと思います。要するに、「人間は〇〇するな」と指示されると、むしろそのことを強く意識してしまいます。

例えば、夜の暗がり一人で歩いている時、何となく怖くなって「お化け出るな、お化け出るな」と思っていると、お化けのことばかり思い浮かんで、木の陰だったり、壁のシミだったり、いろいろなものが人影に見えたりするものです。そんな経験はありませんか？

もう一つ具体例を示すと、スキーで林の中を滑ろうとすると、「木にあたらないように」と思っていると、木しか見えなくなって、「こんなに木ばかりのところ、どこも通るところがないよ」ということになってしまい、結局、木に吸い込まれるようにぶつかりに行ってしまう。

そこで今度は「木の間の道を通ろう」「通れる道を探そう」とイメージしてみてください。すると、道が見えてきて、木と木の間の方が圧倒的に広いことが分かるのではないのでしょうか。どうですか？隙間だらけですよ。

こんな風に、障害物に目を向けると見えてくるのは障害物だけ。通り道について考えれば、見えてくるのは“道”の方になり、通れる道を探すことに焦点があたります。ものの見方、視点を変えるだけで、感情が変化し、その先の結果も大きく変わります。

【障害物=できない事】ではなく、【道=できること】に目を向けて、自分の“進むべき道”を選択していけば、その先の未来も変わっていきますよ。

1月の行事予定

日	曜	予定	16	日	
1	土	元日	17	月	生徒会朝会 生徒会3年生激励会 避難訓練
2	日	休日	18	火	職員会議 ⑥カット 再登校 16:00
3	月	休日	19	水	2年移動教室前検診(9:00~) 学年会
4	火	仕事始め 冬季休業日	20	木	3年都立推薦出願 研修会 ①カット 再登校 16:00
5	水		21	金	三小研究発表会 ①⑥カット 午後カット(原則部活動なし) SC
6	木		22	土	3年私立推薦受験
7	金	冬季休業日終	23	日	3年私立推薦発表
8	土		24	月	全校朝会 校内研修会 ④カット 再登校 16:00
9	日		25	火	一斉専門委員会/中央委員会 3年都立推薦入試 45分授業
10	月	成人の日	26	水	3年都立推薦入試 職員会議 再登校 16:00
11	火	3学期始業式(⑤⑥カット、給食なし) 午後:諸会議 再登校 16:00	27	木	
12	水	給食開始 QU研修会 再登校 16:00	28	金	一中研究発表会 ③⑥カット 午後カット(原則部活動なし) SC
13	木	校内研修会 ⑤カット 再登校 16:00	29	土	
14	金	SC	30	日	
15	土	土曜授業①~④(学校公開なし) (弁当持参活動可能)	31	月	生徒会朝会 2年前日指導⑥

※「SC」はスクールカウンセラーの勤務日です。(直通電話 5438-3512)

【一茶まつり全国小中学生俳句大会】

秀逸：2A Yさん『青田風 去り逝く祖父の 足音か』

入選：2D Oさん『炎天下 自分の陰で 涼みたい』

【税についての作文】

武蔵府中税務署納税貯蓄組合連合会優秀賞：3C Aさん『買って支援する』

【薬物乱用防止標語コンクール】

佳作：2A Kさん 『手を出さなくて その選択で 未来が変わる』

佳作：2C Sくん 『薬物に希望はない 手にした時が 本当の終わり』

【人権作文コンテスト】

東京都人権作文委員会賞 3C Sさん『生きやすい世の中にするために』

【狛江市ゴミ減量標語コンクール】

優秀賞：2A Uくん『みんなでやろう 未来を守る ゴミ分別』

特別賞：3C Kさん『やってみよう 自分にできる ところがけ ゴミを減らして 快適に』

3B Sさん『プラごみを 減らして守る 地球の未来』

3C Kさん『ごみを減らそう！ 1人1gで7200トン』

// 『1人の100歩より、100人の一歩 少しの意識で世界はきれいに』

2A Kさん『それぞれの 意識できっと ゴミは減る』

2A Kさん『このままじゃ 壊してしまう 地球の未来』

2B Kくん『リサイクル しっかり分別 ごみ減らす』

2D Iくん『もったいない 古紙や古着は リサイクル』

1A Hくん『ポイ捨ては 捨てる心も きっとゴミ』

1D Aさん『つなごうよ みんなの思いで ごみ削減』

1C Mさん『みんなで 止めよう 環境汚染』

1D Uくん『ゴミ捨てる あなたの心も 汚れてる』

各コンクールに本校生徒たちが多数応募しました。このような取り組みは各テーマに対する関心を高め、正しい知識と判断力をもてるようにすることが主なねらいです。これをきっかけに社会生活に目を向け、学習の視点や興味関心の幅を広げてほしいと思います。